

林原美術館 NEWS

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART NEWS

vol.35
令和6年度

備前岡山藩池田家四代藩主宗政の龍飾兜

一般財団法人林原美術館館長 谷 一 尚

本年は甲辰。「木の兄きのえ・たつ」と読み、「木火土金水」にそれぞれ兄・弟を充てた十干「甲乙丙丁戊己庚辛壬癸」の最初の年。辰は十二支の五番目で、動物では十二支中で唯一、空想上の動物龍（竜）を充てますが、水とも深く関係しており、原形は揚子江鱉びとの説も。

古代中国では、都の四方を守る守護神で、東が春で青龍、南が夏で朱雀、西が秋で白虎、北が冬で玄（黒）武（亀と蛇の合成獣）。「青春」もここから来ています。これが変化し、鳳凰・麒麟・神亀とともに四瑞と呼ばれ神聖視。龍はこの四瑞の長で、天子・皇帝を象徴。天子の顔は「龍顔」と称され、衣服には龍文。下々の龍は三本爪ですが、大夫の龍は四本爪、天子の龍は五本爪で表されたりします。



四代藩主池田宗政龍飾兜

の龍飾兜。前立の龍は尾の先が剣となり、どんな願いも叶う「如意宝珠」を右前足につかんだ姿で表されています。宗政は三代継政の嫡男で千姫の曾孫。母は仙台藩主伊達陸奥守吉村の息女。一七五二（宝暦二）年、父の隠居で襲封。聡明にして仁君の誉れ高かったのですが、一七六四（宝暦一四）年、わずか三歳で逝去したのは惜しむに余りあり、その遺徳を偲ぶ縁の飾兜として池田家に代々大切に保管され現在に至っています。

宋時代の『爾雅翼』という書物によれば、龍の身は大蛇、鱗は鯉、角は鹿、頭は駱駝、眼は兔、項は蛇、腹は蟹、爪は鷹、耳は牛とされ、その意味では合成獣。よく雲を起こし雨を呼ぶ、干天、日照りの際の雨乞いの水神でもあります。写真は当館所蔵、備前岡山藩池田家四代藩主宗政

一六日にマグニチュード七・七の新潟大地震がありました。一〇月一日、当館開館し本年度で祝還暦。一〇日東京五輪開幕と大躍進の年でもありました。もっとも、一〇年前の一九〇四（明治三七）年は二月一〇日に日露露戦争が勃発。そういえばロシアのプーチン大統領も一九五二年の第九壬辰生まれ。この面では、お手柔らかにと切に願います。



開館60周年記念展

「大名家に伝わる能楽」

令和6年4月13日(土)～6月16日(日)



能面 小面 銘 三笠山

当館の池田家の能楽コレクションは、江戸時代の大名家における能楽の実態と、スケールの大きさを示す資料として重要な文化的価値を有しています。また特筆すべきは、藩主の動向や能楽を通じた交友の様子を示す歴史資料もあわせて現存していることです。本展では池田家に伝わった能楽の名品を、岡山大学附属図書館池田家文庫や当館が所蔵する歴史資料とともにご覧いただき、池田家の能楽コレクションの神髄をお楽しみいただきます。



開館60周年記念展

「平家物語絵巻」

PART I 平家の栄華 令和6年6月29日(土)～8月4日(日)
PART II 源氏の躍進 令和6年8月10日(土)～9月16日(月・祝)

平家一門の栄枯盛衰を伝える『平家物語』。当館が所蔵する『平家物語絵巻』(1～12巻の各巻を上・中・下に分けた全36巻)は、現存する中で唯一の完本の絵巻物です。祇園精舎の鐘の聲から始まる壮大な物語の最後のシーンはどうなっているのでしょうか。この度は会期をわけ、各巻を代表する名場面を一挙公開いたします。



PART I 展示 巻第3上 御産の巻の事(部分)



PART II 展示 巻第11中 先帝の御入水(部分)



開館60周年記念展

「みんなで選ぶ、林原美術館名品総選挙」

令和6年10月1日(火)～12月15日(日)



「林原美術館名品総選挙」投票用紙

昭和39年に開館した林原美術館は、今年10月1日に60周年という記念すべき年を迎えます。この60年を通して、当館では、刀剣や金工、絵画や工芸品をはじめ、岡山藩主池田家ゆかりの歴史資料など、独自のテーマ展をもとに様々なジャンルの館蔵品を展示公開してきました。これまでご来館くださった皆さま方にも、心に残る美術品との出会いがあったことでしょうか。本展では、一般公募として、お一人ずつお気に入りの館蔵品にご投票いただき、その結果をもとに、皆さまが選ぶ「名品」として展示公開いたします。投票は5月6日(月)まで実施予定です。尚、開館60周年の記念日となる10月1日(火)は、無料入館日といたします。



開館60周年記念展

「お殿様のしるし——池田家・藩主所用の品々——」

令和7年1月11日(土)～3月23日(日)

これまで林原美術館では、歴代岡山藩主に関する展覧会を開催してきました。今回は歴代藩主所用の品々の中から、藩主の自筆の書画にみる「印章」のほか、20種以上残る池田家の「家紋」付の甲冑や陣具、馬具、調度、装束を展覧いたします。お殿様が使用した様々な「しるし」から岡山藩主池田家の大名文化をご紹介します。



泊蝶紋銀覆輪鞍・鍔(初代岡山藩主・池田光政所用)

能舞台

「林原美術館 開館60周年記念 祝賀能」

当館の開館60周年を記念して、RSK山陽放送の社屋内の能楽堂ホールtenjin9にて開催される林能楽会主催の「祝賀能」に特別協賛し、館蔵の池田家伝来の能面を使用した舞台をご覧いただきます。時空を超えた幽玄の世界をご堪能ください。

日時：令和6年4月20日(土)13時より
主催：林能楽会
出演：林宗一郎氏 観世喜正氏 大倉源次郎氏 大島衣恵氏

新作公募展「掌」の作品募集

当館の開館60周年を記念して、新作公募展「掌」の作品公募を開始します。

第一回目の課題作品は、日本の伝統工芸である「漆芸」です。作品応募に関する詳細は当館ホームページにて公開いたします。

特別企画

「和菓子とお抹茶の日」

特別企画として、明治21年(1888)創業・130年の歴史をもつ老舗の和菓子屋「松涛園(岡山県倉敷市玉島)」にご協力いただき、展覧会にちなんだ特別な和菓子とお抹茶とともに提供いたします。詳細については、展覧会にご作成するポスター・チラシなどの広報物にてお知らせする予定です。

日時：①令和6年6月16日(日) ②令和6年9月予定
③令和6年12月予定 ④令和7年3月予定
各日10時～14時まで
場所：林原美術館内ロビー
定員：各日20名(Webにて要予約)
お茶菓子代：600円(入館料別途)

チャリティーコンサートのお知らせ

展示品をテーマに、くらしき作陽大学音楽学部作曲専修生と教員が作曲し、演奏発表します。後半はジャズやポサノバでリラックスタイム。秋のひと時を演奏とともに楽しみたいと思います。

日時：令和6年10月5日(土) 開場18時30分 開演19時
出演：くらしき作陽大学音楽学部学生 他 米倉孝カルテット
場所：林原美術館内特設ステージ
定員：60名(当日定員になり次第締め切りになります。)
参加費：チャリティー募金(入館料別途)

イベント

書道パフォーマンス

大きな紙に力強く文字を書く書道パフォーマンス。岡山芳泉高校の美術部の皆さんが描いた絵の上に、書道部の皆さんが迫力ある「ことば」を大書します。高校生の瑞々しい感性で表現された作品と、力強く優雅なパフォーマンスをお楽しみいただけます。

日時：令和6年5月5日(日・祝)13時30分～14時30分
場所：林原美術館内ロビー
出演：岡山県立岡山芳泉高等学校 書道部・美術部
参加費：無料(入館料別途)

ワークショップ「織」体験

経糸と緯糸とを組み合わせることで作られる織物。華やかな能装束も、この「織」で作られています。今回は糸作家の三浦奈巳先生をお迎えし、ワークショップを開催します。簡易織機を使用してオリジナルのコースターを作ってみましょう。

日時：令和6年5月19日(日) ①13時30分 ②15時
講師：三浦奈巳氏(糸作家)
場所：林原美術館内ロビー
定員：各回8名(Webにて要予約)
参加費：1,000円(入館料別途)

ワークショップ「染」体験

染料で糸や布に着色することを「染」といいます。この「染」が体験できるワークショップを、染色家の北野静樹先生をお迎えして開催します。型紙を用いて、Tシャツやハンカチなど好みの物を自由に染めてみましょう。父の日のプレゼントにもいかがでしょうか。

日時：令和6年6月9日(日) ①10時30分 ②13時30分
講師：北野静樹氏(染色家)
場所：林原美術館内ロビー
定員：各回10名(Webにて要予約)
参加費：※1,000円～2,500円(入館料別途)
※ハンカチ、手ぬぐい、Tシャツなど素材により異なります。

琵琶演奏

薩摩琵琶は、薩摩の戦国武将・島津忠良公が藩士の士気を鼓舞する目的で、武家の子弟たちに自作の教訓歌を歌わせたのが起源とされています。今回は、記念展「平家物語絵巻」の関連イベントとして、錦心流薩摩琵琶奏者の木庭櫛水氏をお招きし、「敦盛」と「静」の琵琶曲を披露していただきます。

日時：令和6年8月18日(日) 13時30分～15時
出演：木庭櫛水氏(錦心流)
曲目：「敦盛」「静」
場所：林原美術館内ロビー

※「イベント」の掲載内容は変更になる場合がございます。

林原美術館講座

当館所蔵の美術品などを通じ、歴史をより広く、深く知っていただく機会として開催する美術館講座。今回は「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」の詞書からはじまる「平家物語」をテーマに、平家一門の盛衰についてお話しします。

日時：令和6年9月1日(日) 13時30分～15時
講師：谷一尚(当館館長)
演題：「林原美術館蔵『平家物語絵巻』」
場所：林原美術館内ロビー
定員：30名(Webにて要予約)
参加費：友の会会員無料、一般600円(入館料別途)

開館60周年記念講演 「登録有形文化財の前川建築(本館)・長屋門・蔵と共に歩む」

開館60周年記念講演として、令和5年3月に国の登録有形文化財(建造物)へ登録された当館の長屋門、そして近代建築の巨匠・前川國男により設計された本館の建築をテーマにご講演をいただきます。

日時：令和6年10月6日(日) 13時30分～16時30分
講師：橋本功氏(前川建築設計事務所代表取締役所長)
浅利尚氏氏(就実大学准教授)
山崎真由美氏(一社)岡山県建築士会岡山ヘリテージマネージャー(機構)

演題：第一部「林原美術館長屋門と蔵の移築の謎を追って」
第二部「前川建築と林原美術館」
場所：岡山県立図書館 多目的ホール(予定)
定員：120名(Webにて要予約)
参加費：500円(林原美術館入館券付き)

お茶会「秋の特別茶会」(仮)

毎年ご好評を頂いております「お茶会」のご案内です。秋麗の頃、季節を感じさせる道具組で皆様をお迎えします。好評につき、今年は2日間、開催いたします。ゆったりとした秋のひと時を茶室「竹明庵」でお過ごしいただけます。

日時：令和6年11月3日(日)、4日(月)
10時～16時25分(お茶席最終受付は15時25分)
亭主：石田宗祥氏(速水流)
場所：林原美術館内 茶室「竹明庵」
定員：各日50名(要予約)
参加費：1,600円(入館料別途)

イベント

※イベントの開催内容は変更になる場合があります。

コンサート

「三船文彰 チェロ名曲の楽しみ」

「リクエスト・コンサート」

毎年大変ご好評を頂いております三船文彰氏のチェロコンサート。今年のコンサートは、演奏曲を皆様の声で決定いたします！演奏者と観客が一体となって作るリクエスト・コンサート。当日はどの曲が選ばれるでしょうか？お楽しみに。

日時：令和6年11月16日(土)

開場18時 開演18時30分

出演：チェロ 三船文彰氏 ピアノ 荒木渉氏

場所：林原美術館内 特設ステージ

定員：60名(Webにて要予約)

参加費：2,600円(入館料別途)

講演会

「岡山藩主池田家伝来品のゆくえ」

記念展「お殿様のしるし」の関連イベントとして、元当館学芸課長で、現在就実大学准教授の浅利尚民先生をお招きし、林原美術館コレクションの基幹である岡山藩主池田家旧蔵品の、明治時代以降の伝来過程とその継承に奮闘した人々についてお話しいただきます。

日時：令和7年2月9日(日) 13時30分～15時

講師：浅利尚民氏(就実大学 准教授)

場所：林原美術館内ロビー

定員：30名(Webにて要予約)

参加費：無料(入館料別途)

新マークのご紹介



開館60周年を機に、館のマークを新たに長屋門をモチーフとした親しみやすいデザインに4月1日より変更します。また、60周年を記念した泊蝶紋をアレンジした記念マークも制作しました。

「デジタル常設展」のご紹介

当館ロビー等に設置のタッチパネルで、ご自由にご覧ください。4K超高精細技術により、通常の展示では判別しにくい細部まで驚きの超拡大映像を体験できます。

「平家物語絵巻」・国宝「太刀銘吉房」の他、重文「アジア航海図」・「坤輿万国全図」等、大航海時代の詳細な世界をお楽しみください。また、当館を代表する美術品・史料を掲載した図録「林原美術館名品選」の全230件余りに及ぶ画像も常時ご覧いただけます。(※貸館期間は除きます。)

理事・評議員・監事のご紹介

- | | | | | | |
|------|------|-----|------|----|-------|
| 代表理事 | 長瀬玲二 | 評議員 | 朝倉研二 | 監事 | 加瀬野忠吉 |
| 理事 | 谷一尚 | 評議員 | 白井洋輔 | 監事 | 寺坂幸治 |
| 理事 | 黒住章子 | 評議員 | 高次秀明 | | |
| 理事 | 松田正己 | 評議員 | 原憲一 | | |
| 理事 | 横山拓二 | | | | |
- (五十音順)
※令和6年3月現在

施設の利用・貸し出し

当館では、展示室・ロビー・庭園・茶室などを使用し、非日常の中のコンサート、お茶会、パーティーなどにご利用いただいております。ご希望の方は、所定の用紙での申し込みが必要となりますので、お気軽にお問い合わせください。

対象	補足内容	単位	料金
展示室	(a)平日	1日につき(午前9時30分～午後6時)	37,500円
	(b)土・日・祝日(振替休日を含む)	上記時間帯外の使用の場合は時間案分料金が加算されます。	75,000円
	(c)展示期間中の閉館時間帯(～午前10時、午後5時～)		
ロビー		1時間につき	3,500円
庭園			
茶室			
電気・空調	展示室・ロビーを使用の場合	1時間につき	2,000円
ピアノ	本体	1時間につき	3,500円
	調律料(実費請求とします。)	1回につき	35,000円
附属設備	机、椅子等の備品類		別途必要
時間外管理費	通常の勤務(午前9時30分～午後6時)時間外に利用の場合	1時間につき	別途必要
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・時間単位設定の場合、1時間未満の時間は1時間として計算します。 ・使用時間には、準備・片付けなど会場を占有する時間も含まれます。 ・展示室の展示期間中のご利用は、人数当たりの入館料を頂きます。 ・展示室内の空調は、美術品優先の設定となります。 ・本規定は、令和6年1月1日現在です。 		

収蔵品概要と建物のご紹介

実業家でありながら、古美術を愛好した、故林原一郎が収集した刀剣・甲冑・陶磁器・旧岡山藩主池田家旧蔵の能面・能装束・絵画・書跡・時絵工芸品など、国宝3件・重文26件を含む約9,000件を収蔵しています。本館は、世界的建築家ル・コルビュジエに師事した日本を代表する前川勇氏の設計により、純日本のな長屋門・土蔵・茶室・庭園とマッチし、ゆたかりとした時間の流れを感じられます。また、ミシラン・グリーンガイドでは、当館全体として(★)、重要文化財「洛中洛外図屏風」(★★)や能装束(★)の3件が掲載されています。

「友の会」募集のご案内

- 会員の種類・年会費
 - 個人会員
 - 【1年】新規 3,000円 (入会継続) 2,700円
 - 【3年】10月以降入会 1,500円
 - 【3年】7,200円
 - 法人会員
 - 【1年】新規 30,000円 (入会継続) 27,000円
 - 【3年】10月以降入会 15,000円
 - 【3年】72,000円
 - 有効期限
 - 1年会員 令和6年4月1日～令和7年3月31日
 - 3年会員 令和6年4月1日～令和9年3月31日
 - 会員の特典
 - ① 入館料無料または割引料金
 - ② 企画展(本人と同伴者)1名様 無料
 - ③ 特別展(本人と同伴者)1名様 割引料金
 - ④ 展覧会・イベント(こと)情報の送付
 - ⑤ 林原美術館NEWSのお届け
 - ⑥ イベントへの割引料金(一部対象外)のご案内
 - ⑦ 貸館の優待
 - ⑧ スタンプラリーで当館関連グッズをプレゼント
 - ⑨ ミュージアムグッズを割引価格で販売(一部対象外)
 - ⑩ 喫茶コーナーのお飲み物が50円割引
 - ⑪ 会員様を含む、5名様以上のグループであれば、学芸員による特別解説を実施(要予約)
- 「ご入会の申し込みおよび詳細は、美術館スタッフまでお尋ねください。」

臨時休館等のお知らせ
自然災害の発生や悪天候により、事前の告知なく、開館時間の短縮や臨時休館場合があります。臨時休館等の条件は当館ホームページをご覧ください。なお、緊急のお知らせは各種SNSなどでも発信しておりますので、ご確認ください。

〒700-0823 岡山市北区丸の内二一七-一五

一般財団法人 **林原美術館**

TEL 086-233-1733
FAX 086-233-1089

https://www.hayashibara-museumofart.jp
@hayashibara1964 @hayashibara1964

